

1. 令和2年度の当初予算の概要

知内町の予算を見てみよう！



予算編成の基本的な考え方

本町の財政は、収入では地方交付税が減少してきており、社会保障関係経費や公共施設の維持管理経費の負担が増加を続けています。

財政調整基金の残高は令和元年度末で約1億8千万円となる見込みであるなど、依然厳しい状況が続いているところです。

本年度の一般会計では、各種産業振興施策の展開と住民福祉の増進のための施策に要する財源を確保する一方で、一般的な経費の抑制に努め、将来世代に負担を先送りしない持続可能な財政運営を意識した予算を編成しました。

令和2年度の知内町の当初予算は、**55億7,484万円**です。

町の会計には、「一般会計」「特別会計」「企業会計」の3種類の会計があります。

一般会計：基礎的な行政サービスを行うための会計（39億4,987万円）

福祉、子育て、教育、消防、道路や公園の整備など、町民の暮らしやまちづくりに必要な基礎的な行政サービスを行う会計です。

町税は主にこの一般会計で使われています。

特別会計：特定の事業を行うための会計（14億1,978万円）

特定の事業や特定の収入で事業を行うため、お金の管理を一般会計とは区分している会計です。本町には5つの特別会計があります。

【国民健康保険事業特別会計】6億4,464万円

国民健康保険加入者の医療費に対する保険給付などを管理する会計です。

【後期高齢者医療事業特別会計】7,353万円

後期高齢者医療制度に加入している人が病院にかかったときの医療費のうち、保険負担分を処理する会計です。

【介護保険事業特別会計】5億2,137万円

介護保険サービスの利用にかかった経費のうち、保険負担分の支払いを処理する会計です。

【その他の特別会計】 公共下水道事業特別会計	1億4,717万円
農業集落排水施設整備事業特別会計	3,307万円

公営企業会計：事業の収益で運営している会計（2億519万円）

水道事業は地方公営企業法という法律によって定められた特別な会計方法を採用しています。これを公営企業会計といいます。

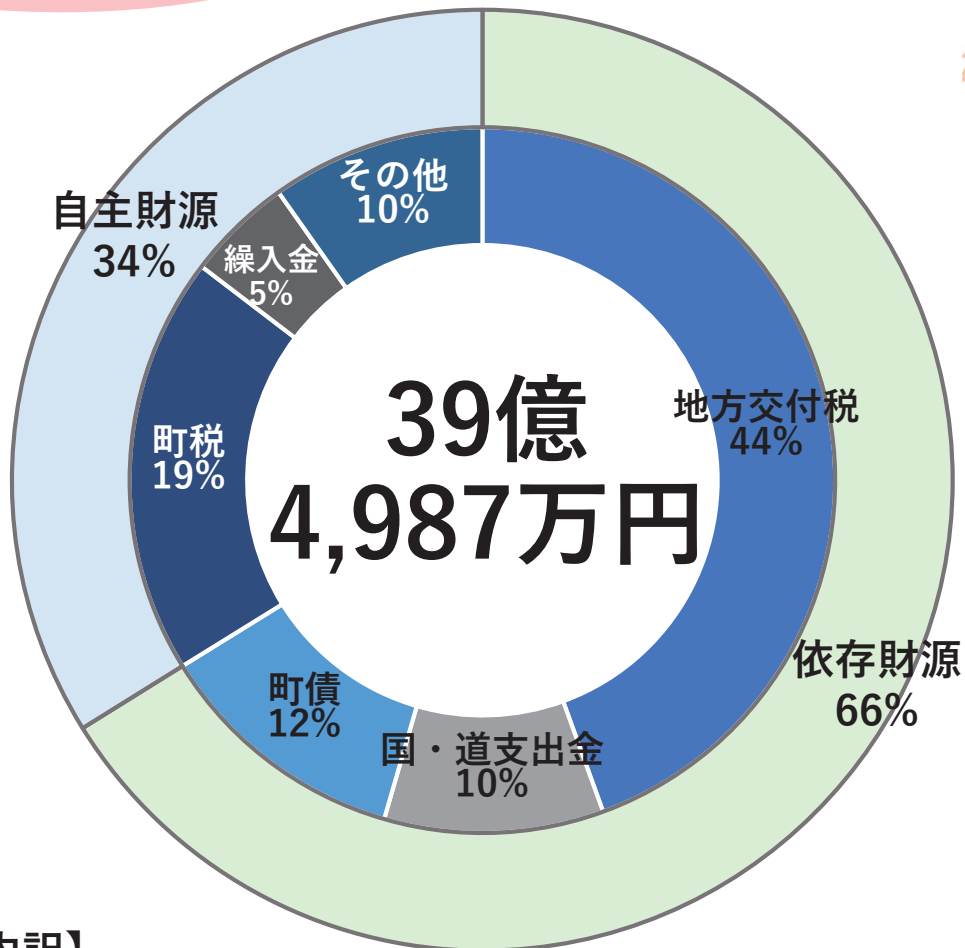
主な収入：水道料金

主な支出：職員の給与、修繕費（浄水場設備等）、動力費（電気料等）、減価償却費
支払利息（借入金）など

2.一般会計（歳入）

基金(貯金)を切り崩しながら
予算を確保しているんだね！

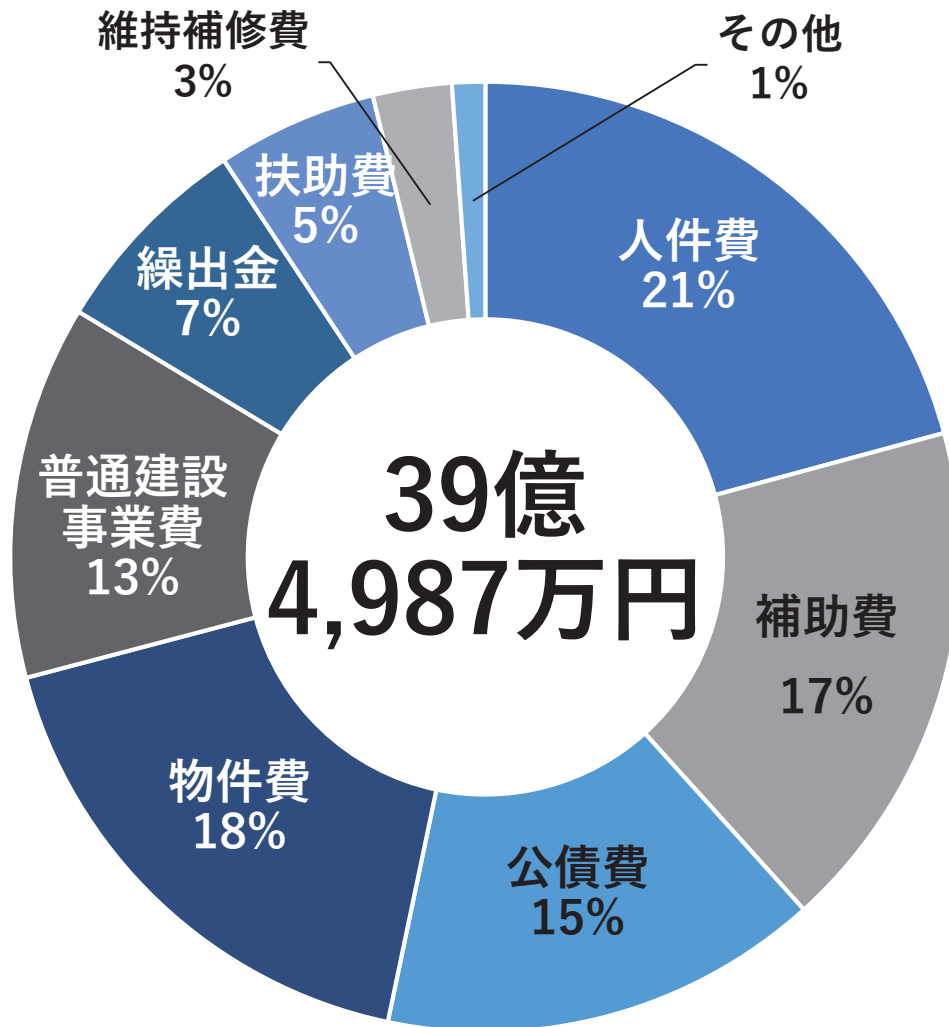
町の予算の6割は国からの
補助金や交付税でまかなわれて
いるんだね！



【歳入の内訳】

種 類	内 容	予算額
地方交付税	自治体の財政力に応じて国から配分されるお金	17億5,498万円
町 税	町民の皆さんや町内に事業所がある法人が納めた町民税や固定資産税など	7億5,773万円
繰入金	基金（貯金）を取り崩したお金	1億9,119万円
国・道支出金	国や北海道が必要だと認めた事業に対して配分されるお金	3億9,729万円
町 債	施設の建設や地方交付税の不足を補うために国や銀行などから借り入れるお金	4億6,140万円
その他	施設の利用料や証明書の発行手数料、保育料などの負担金、寄附金や不動産の売り払い収入など	3億8,728万円

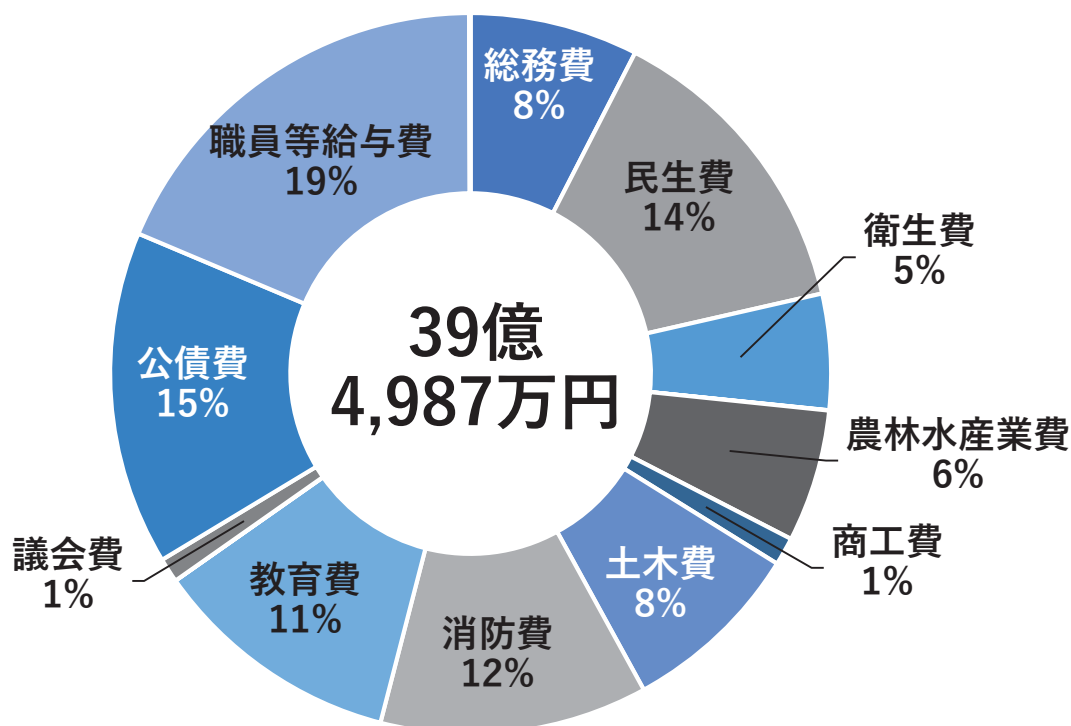
3.一般会計（歳出）



【歳出の内訳】

種 類	内 容	予算額
人件費	職員の給料や手当、議員や各種委員の報酬などに使われるお金（高校教職員含む）	8億2,149万円
補助費	各団体への補助金などに使われるお金	6億9,161万円
公債費	道路や公共施設などをつくる時に借り入れたお金の返済金	5億9,197万円
物件費	一般的な事務費、施設の管理運営などに使われるお金	6億9,547万円
普通建設事業費	道路や学校、公園などの整備に使われるお金	5億 302万円
繰出金	国民健康保険、下水道などの特別会計に使われるお金	2億7,996万円
扶助費	高齢者や障がい者の支援などに使われるお金	2億1,573万円
維持補修費	道路や公共施設の修繕などに使われるお金	1億 620万円
その他	各種基金積立金、奨学資金などの貸付金、予備費	4,442万円

4.一般会計（目的別予算内訳）

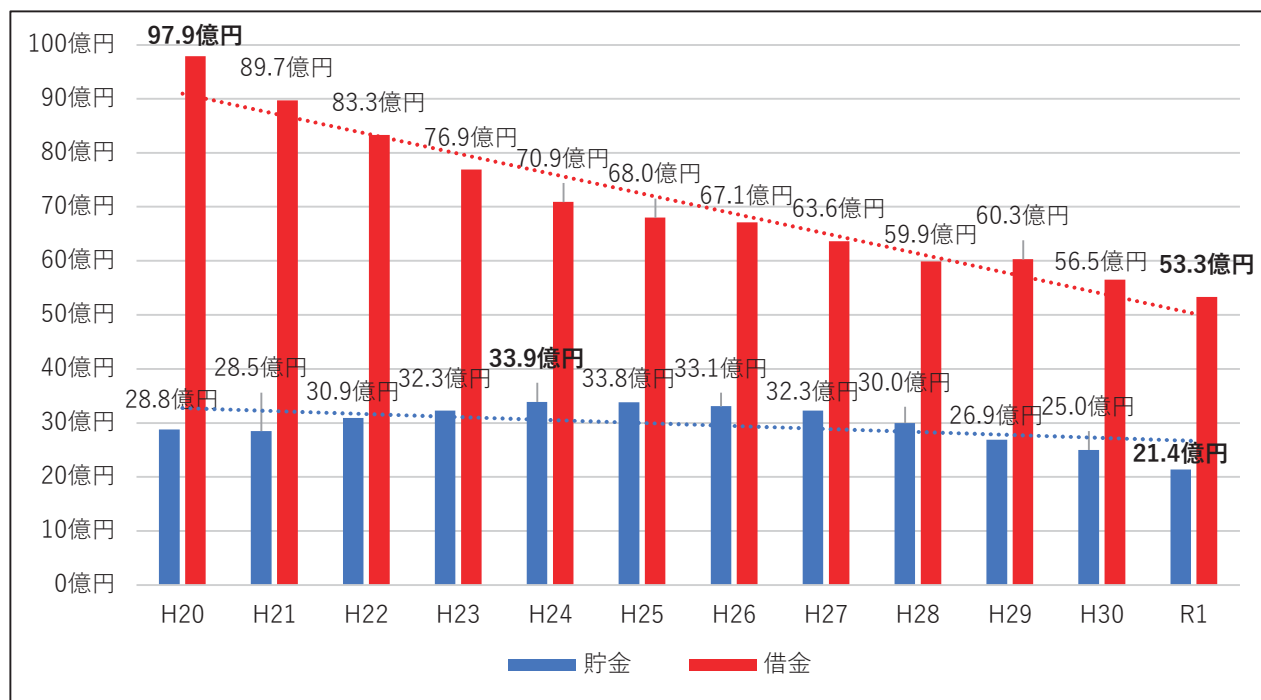


【目的別予算の内訳】

種 類	内 容	予算額
議会費	知内町議会運営に使われるお金	4,283万円
総務費	庁舎管理や役場の全般的な仕事に使われるお金	2億9,777万円
民生費	保育園の運営、高齢者や障がい者の支援などに使われるお金	5億4,875万円
衛生費	ゴミの収集や処理、住民健診などに使われるお金	2億 524万円
労働費	労働者支援に使われるお金	31万円
農林水産業費	1次産業の振興や支援などに使われるお金	2億3,491万円
商工費	商工業の振興や支援、イベント助成に使われるお金	4,938万円
土木費	道路や河川・公営住宅などの整備に使われるお金	3億2,382万円
消防費	消防署の整備や管理のために負担するお金	4億7,361万円
教育費	学校の整備や管理・運営に使われるお金	4億4,441万円
災害復旧費	災害復旧事業に使われるお金	5万円
公債費	道路や公共施設建設のために借り入れしたお金の返済金	5億9,197万円
職員給与費	役場職員等の給料など（高校教職員含む） ※議員や各種委員の報酬は除く	7億3,382万円
予備費	予定外の支出に対応したお金	300万円

5.町の借金と貯金について

【借金と貯金の総額】



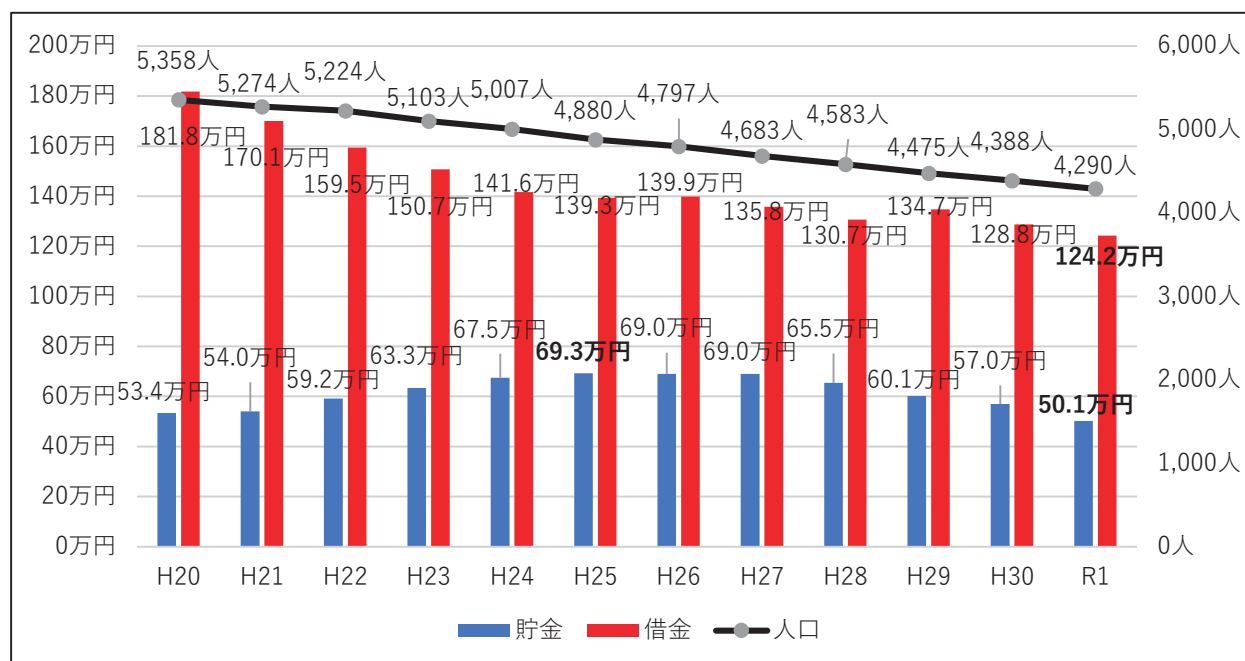
【借金の借入額と返済額】

区分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
借入額	3.6億円	2.8億円	3.8億円	2.5億円	2.8億円	5.4億円	8.5億円	4.6億円	4.4億円	8.1億円	4.6億円	6.3億円
返済額	9.5億円	9.0億円	7.8億円	7.3億円	7.6億円	7.1億円	7.2億円	7.2億円	7.4億円	7.4億円	7.8億円	6.7億円

【特徴】

- ✓町の借金は、平成20年には97.9億円まで増加しましたが、現在は毎年の返済によって53.3億円まで減少しています。一方で、貯金は平成24年の33.9億円をピークに年々減少を続け、現在は21.4億円まで減少しています。

【町民1人当たりの借金と貯金】



【特徴】

- ✓人口の減少傾向が続いていますが、借金額は町民1人当たり約124.2万円まで減少。
- ✓一方、貯金は、平成25年の町民1人当たり69.3万円をピークに減少が続き、現在は50.1万円となっています。